

授業科目 病態生理・治療学Ⅰ（後期分）

【担当教員名】 林千治	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期・後期	必修・選択	必修
	単位数	4	時間数	60（内30）

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

病態生理・治療学Ⅰ（前期）で学んだ内容を基礎として、主たる内科疾患を学ぶ。また、その応用として、老年学や老年期に特有な疾患の知識を習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

内科系の疾患数は膨大であり、このすべてをこの授業で理解するのは不可能である。各職種が臨床の場においてよく遭遇する疾患や、処置に注意を要する疾患について、その基礎知識を身に付けることを目標とする。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	内科各論 1 循環器疾患Ⅰ（先天性心疾患と後天性心疾患）		講義（林）
2	内科各論 2 循環器疾患Ⅱ（刺激伝導系の異常と不整脈、心電図）		講義（林）
3	内科各論 3 循環器疾患Ⅲ（心電図の見方；危険な不整脈、虚血性心疾患）		講義（林）
4	内科各論 4 呼吸器疾患		講義（林）
5	内科各論 5 消化器疾患 1 消化管疾患		講義（林）
6	内科各論 6 消化器疾患 2 肝臓・胆管系、膵臓疾患		講義（林）
7	内科各論 7 腎、泌尿器系疾患、電解質異常		講義（林）
8	内科各論 8 内分泌・代謝疾患		講義（林）
9	内科各論 9 血液疾患		講義（林）
10	老年病学 1 老化とは、老年者の疾患の特異性		講義（林）
11	老年病学 2 高齢者の循環器疾患・呼吸器疾患		講義（林）
12	老年病学 3 高齢者の消化器・腎泌尿器系疾患、電解質異常		講義（林）
13	老年病学 4 高齢者の免疫・感染症、血液・内分泌・代謝異常		講義（林）
14	老年病学 5 高齢者の運動器・感覚器・皮膚・精神疾患		講義（林）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	オリジナル			
参考書	ナースの内科学（5版）	越川昭三（編）	中外医学社	2001年 8000円
	老年期医学テキスト	日本老年医学会（編）	Medical view	1997年 6500円
その他の資料	プリントで配布する。			

【評価方法】 試験のみ	【履修上の留意点】 前期の病態生理・治療学Ⅰ（前期）と合わせて4単位とするが、病態生理・治療学Ⅰ（後期）として合格点をとる必要がある。
----------------	--